

連載 日米地位協定を考える ① 校庭から避難なんと706回！

今もつづく普天間第二小上空の米軍機飛行

皆さんは昨年12月、米軍普天間基地（沖縄県宜野湾市）に落した普天間第二小学校での事件を記憶していることと思いますが、その後のこと

が分かりました。

米軍側は昨年の事故直後、「最大限、学校の上を飛ばないようにする」との約束は守られていません。守られないどころか米軍機が普天間第二小学校上空に接近し児童が避難した回数は、校庭の使用を再開した2月13日から9月12日までになんと706回にのぼる

ことが防衛省の資料から

「最も限、学校の上を飛ばないようになります」との約束は守られていません。守られないどころか米軍機が普天間第二小学校上空に接近し児童が避

難した回数は、校庭の使用を再開した2月13日から9月12日までになんと706回にのぼる

ことが防衛省の資料から

「最も限、学校の上を飛ばないようになります」との約束は守

られていません。守られない

どころか米軍機が普天間第二

小学校上空に接近し児童が避

難した回数は、校庭の使用を再開した2月13日から9月12日までになんと706回にのぼる

ことが防衛省の資料から

「最も限、学校の上を飛ばないようになります」との約束は守

られていません。守られない



憲法9条を守ろう「おおまち9条の会」主催の上映会が11日（日）に大町市公民館であり鑑賞しました。

中米、アメリカのすぐそばにある国「コスタリカ」は1948年に軍隊を廃止し翌年には憲法にも規定したそうです。

軍事予算をゼロにして社会福祉を充実させ国民の幸福度を最大化する道を選択します。その軌跡のドキュメンタリー映画でした。

日本でも今盛んに憲法についての議論が活発化する中、世界には平和国家の在り方についてこのように変えていく國の形もあるんだと考えさせられた内容でした。

軍隊廃止を宣言したホセ・フィゲーレス・フェレールやノーベル平和賞受賞者の元大統領、学者などが登場します。条約や国際法そして国際機関との関係を強化しながら

北にニカラグア、南東にパナマと国境を接しており、南は太平洋、北はカリブ海に面している。

聞いて！ 聞いて！ 読者のひろ

映画「コスタリカの奇跡」
積極的平和国家の作り方」を

憲法9条を守ろう「おおまち9条の会」主催の上映会が11日（日）に大町市公民館であり鑑賞しました。

中米、アメリカのすぐそばにある国「コ스타リカ」は1948年に軍隊を廃止し翌年には憲法にも規定したそうです。

軍事予算をゼロにして社会福祉を充実させ国民の幸福度を最大化する道を選択します。その軌跡のドキュメンタリー映画でした。

日本でも今盛んに憲法についての議論が活発化する中、世界には平和国家の在り方についてこのように変えていく國の形もあるんだと考えさせられた内容でした。

軍隊廃止を宣言したホセ・フィゲーレス・フェレールやノーベル平和賞受賞者の元大統領、学者などが登場します。条約や国際法そして国際機関との関係を強化しながら

の安全保障体制を構築しています。教育、医療の無料化さらに環境のために國家予算を振り分けました。

健康を図る指標「地球幸福度指数」が2016年に世界140ヶ国のランク1位になりました。現在ラテンアメリカで最も安全な国だそうです。ここまでの大変な道のりの教訓に少しでも学びたいと思いました。（60代女性）

赤旗日曜版を読んでおられる人はご存じだと思うが、これには間違い探しとワードパズルが載っている。元気だった頃に、やってみ？と誘ったら、間違い探しは3つくらい、ワードのほうはものの2、3問やつていやになつていた。

今は？ 間違い探しは一人ではほとんどできない。見つけてもやはり3つ。ツレが見つけるまでじっと待つていると、「おかーさん、やってみ？」と振ってくる。そこで私がほとんど答

のよなヒントを言うと、「あ、これ嬉しそうに○を付けていく。

さてワードはというと、わからな
い、、、わからない、、、わからな
い、、、を連発する。ではさぞ途中でそ
っぽを向くと思いきや、私がヒントを読
んでやり、わからないところは飛ばしな
がら進むと、最後の一文を作るところまでやりきる。元気な時より、がんばるじ
やないか。おまけに文章ができると
「ああ、なるほど」と満足そうな顔をす
るのだ。一週間に一度は一緒に寝転がつて新聞を広げるのがとても大切な時間に思えるこの頃。